

市議会だより

80



～声をカタチに!!～

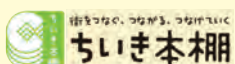
令和6年10月27日(日)、『ゆざわ市民一日議会』が開催されました。

「防災」「福祉」「地域活性化策」等、次世代を担う子ども達の堂々とした発言や登壇者の熱い想いに感動。

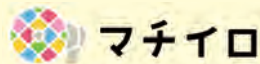
本会議場で初めて傍聴された方々も多く、『ゆざわ市民一日議会』での声を一つでもカタチにしていきたい。

第4回定例会

特集：ゆざわ市民一日議会	P.2～3
一般質問	P.4～9
議案審議、議決結果一覧表	P.10～12
委員会行政視察報告、特別研修	P.13
特集：出張!!なんでも意見交換会	P.14～15
議会のうごき ほか	P.16



スマートフォン・タブレット用アプリ「SideBooks」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で「ゆざわ市議会だより」がご覧になれます。



市民×議会

～自分の思いを議場で発信～

第3回

ゆざわ市民一日議会

10月27(日)、ゆざわ市民一日議会を開催しました。今年度は、10名の一日議員の皆さんにさまざまな分野にわたり、自分の思いや考えを発言いただきました。それぞれの視点から出されたアイデアやご意見にふれ、大変貴重で有意義な時間となりました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

VOICE ACTION とどけ!! 私の思い、僕の声

市をあげて災害への対策を

市民全員が楽しく防災に取り組めるようなきっかけをつくり、積極的に地域住民を巻き込んでいく仕掛けで、市全体の防災意識が高まるのでは。災害が来たときでも、一人一人が適切な行動をして、家族や地域の皆さんと助け合いながら、誰の命も犠牲にならない湯沢市になればよい。



←Youtubeで
ご覧いただけます

柴田 結香さん

地元の魅力を多方面に広めたい!

地域の魅力を最大限に引き出し、多方面に広め、若い世代に働きかけていくことが必要。多くの人々に湯沢市の魅力を知ってもらうことで、市を訪れる人や、移住する人が増え、若い人も地元に残ったりするなど、まちのにぎわいが増え、人口減少解決の一助となればよい。



←Youtubeで
ご覧いただけます

井上 花さん

湯沢の風土を生かした取り組み

地域の人と一致団結して作り上げることで交流が深まる田んぼアートや雄物川の風土を活かしたカヌー競走イベントを行えば地域のにぎわいを戻せるのでは。そういったイベントを若者が中心となってSNSを活用して宣伝し、さらに盛り上げたい。



←Youtubeで
ご覧いただけます

藤原 由紀人さん

地域通貨、ポイントで町の経済を活性化

地域の経済がよくなれば、少しずつ税収も増え、サービスの向上や新しい取組の運用等の経費にも回すことができる。地域通貨や地域ポイントの導入で、商店街を中心としたまちの活性化のきっかけになり、湯沢市が持続可能なまちであってほしい。



←Youtubeで
ご覧いただけます

小塚 悠平さん

湯沢市を有機農業で盛り上げたい

有機農業を学び、体験し、湯沢市の農業に興味を持つことで、市の農業人口を増やすことに大いにつなげる。若者が農業に関心を持つきっかけとして、あえてより手間のかかる有機農業を通して大変さを学ぶと同時に、楽しさとやりがいを知ってほしい。



←Youtubeで
ご覧いただけます

佐藤 舞夢さん

湯沢市で子供達がのびのびと遊べる場所について

子供たちが遊べる場所が少ない。この湯沢市の大自然を活かした大型アスレチック施設や廃校になっている学校を再利用した屋内複合施設を考えてみてはどうか。子供たちが今よりもっと自分の住んでいる湯沢市を好きになり、自慢できる場所になればよい。



←Youtubeで
ご覧いただけます

長谷山 夕莉さん

通いやすい緑風荘に!

緑風荘が新しくなり、たくさんの皆さんに利用してもらえるよう送迎バスがあれば良い。運転免許証のない人も自由に通いやすい緑風荘であってほしい。緑風荘の温泉に多く通いたいのので、送迎バスや、公共交通が整備されることを望んでいる。



←Youtubeで
ご覧いただけます

古関 マリ子さん

湯沢市がもっと盛り上がるためにジオパークとして出来る事

湯沢の大地の歴史や大地と人々のつむいだ物語を学び、そのすばらしさや魅力に感謝している。官民が一致団結して、みんなで知恵を出し合って、湯沢ジオパークを基盤にしてこのすばらしい湯沢を盛り上げ、未来に希望を持って市が発展してほしい。



←Youtubeで
ご覧いただけます

吉野 弘子さん

「湯沢出身者よ。たまには田舎に住んでみないか」プロジェクト

土地付空き家を整備し、湯沢市出身者に長期間の貸出しを試みる実験をしてみたい。期間限定の移住をしてみ、気に入ったらじっくりと家を探し、土地を探して、住んでみるということも考えられる。市側にとっては、空き家、空き地の利活用ができるのでは。



←Youtubeで
ご覧いただけます

遠田 喜代志さん

若者が輝けるまち

若者が輝けるまちをつくるには人口を増やすことが大事。湯沢市には活動の原動力となる原石がたくさん。原石を磨き上げ、より若者が輝けるまちへ移行できるのではないだろうか。一緒に力を合わせて湯沢市を輝けるまちへとつくり上げていきましょう。



←Youtubeで
ご覧いただけます

佐藤 孝昭さん

アンケートにご協力いただきました 参加・傍聴された皆さんの声

- 他人事のように考えていたことも、しっかり目を向けて、自分自身で考えていきたいと強く思いました。今後の問題やアイデアをたくさん出して市を盛り上げていきたいです。
- 色々な意見を聞くことができ、学生さんや市民の皆様が本当に湯沢を良くしたいと思っていると感じました。これからも、市民の意見に耳を傾けて、よい湯沢市に、住みよい湯沢市になりますよう願っています。
- 今日集まった一日議員もこれからの原石です。10人の意見をどのように次のアクションプランにするのが重要だと思います。色々な方の意見を集めることはとても大事な事だと思いました。たくさんの人に発言してもらいたいです。
- 湯沢市に貢献したいという想いが強まりました。
- 傍聴していて、改めて言われると「あ、そうかも」「その方法があるんだ」と考えさせられる。新しい発見をすることができました。
- 湯沢の発展のためには、たくさんの視点で課題を見つけ、改善していくことが大切だと気付きました。

ゆざわ市民一日議会を終えて

11月11日に広報広聴委員会を開催し、振り返りを行い、その結果を含めた報告書を作成しました。

また、11月12日には、ゆざわ市民一日議会の取組に関する行政視察を受入れし、令和6年第4回定例会では今回の発言テーマに関連した一般質問が行われました。

今後も発言者の皆様からいただいたご意見やご提案については、委員会などで協議し、市政および議会活動に反映させてまいります。

ゆざわ市民一日議会
ホームページ
開催報告書はこちらから



～ゆざわ市民一日議会の様子～



議員席に座る一日議員の皆さん



手を挙げ、議長から指名を受け、登壇します



演題で意見を述べる一日議員



ゆざわ市民一日議会を終えて、一日議員のみなさんとのワンショット

令和6年

第4回 定例会

12月4日から12月24日までの21日間の会期で第3回定例会が行われました。

12月11日、12日に開かれた本会議では、9人の議員が一般質問を行い、各議員が活発な議論を展開し、市政全般についていただきました。

質問項目と答弁を要約した内容は次のとおりです。

一般質問



各議員の一般質問の様子を、YouTube動画でご覧いただける二次元コードを掲載していますので、ぜひご視聴ください。

	議員名 ※(質問方式)	質問項目	ページ
12月11日	兼子正寛 (一括)	◇佐藤市政について ◇産業振興について ◇ふるさと納税の推進について ◇学校教育について ◇地域コミュニティについて	P. 5
	寺田純二 (一括)	◇令和7年度予算編成方針について ◇市民生活を豊かにする総合経済対策について ◇地域防災力強化の対策について ◇主権者教育の重要性について	
	藤田健志 (分割)	◇今後の中心市街地活性化について ◇道の駅おがち周辺整備について ◇ウォーターPPPの導入検討について	P. 6
	高橋達 (一括)	◇矢地ノ沢地域地熱開発について ◇緑風荘について ◇「紙おむつ費支給券」について ◇保健・医療の充実と健康づくりについて ◇特定外来生物の拡大・被害防止について	
12月12日	高橋克己 (一括)	◇市保有車両の整備、車検のあり方について ◇小安峡温泉給湯施設、給湯料金の経過について	P. 7
	大山豪 (一括)	◇市外とのアクセス、二次交通及び地域公共交通について ◇本市の教育行政について ◇市内に所在する豚舎から発生していると思量される広範に及ぶ異臭について ◇本市の財政状況について ◇一連の事務処理誤りについて	
	佐藤愛子 (一括)	◇今後の地域における交通手段について ◇高齢者世帯の支援の取組について ◇ふるさとを離れても「帰ってきたい」と思えるまちづくりについて	P. 8
	石川隆一 (分割)	◇湯沢生涯学習センター等跡地の活用について ◇空家等対策事業について ◇山田地区の学校再編計画について	
	佐藤勝 (分割)	◇農業振興について ◇ふるさと納税推進について ◇修学旅行費について	P. 9

※一括質問方式…全ての項目を一括して質問し、一括して答弁を求める方式
分割質問方式…質問項目ごとに分けて質問し、その都度答弁を求める方式

一般質問

◆佐藤市政について

質問 地域主体の交通サービスやライドシェアなどの導入は高齢者や運転に不安を抱えている方に重要な施策であると考え方が見解を伺う。

答弁 新たな施策も検討しているなかで、タクシー事業者等の協力を得ながら可能な限り反映させたい。

質問 新年度予算の編成過程を公開することで、市民の皆さんの財政への関心と理解を深める事ができ、透明性の高い財政運営が行えるものと考え方が見解を伺う。

答弁 現段階では全ての公開は難しい。公開できるように検討していく。

◆学校教育について

質問 部活動の地域移行が段階的に始まっているが、運営団体や指導者の確保、生徒・保護者の経済的負担に懸念を抱く。このまま計画通り進めていくのか伺う。

答弁 生徒のニーズを第一に考え、地域移行に関する課題等に

ついて要検討し保護者の二重負担等が無いよう行政として支援していく。

◆地域コミュニティについて

質問 人口減少に伴い運営団体の維持が困難となり、地域コミュニティが衰退傾向にあると感じる。この危機的状況について、これまで通りの行政支援や進め方で良いのか。市長と教育長の見解を伺う。

答弁(市長) 地域コミュニティのあり方について、危機感を持ち、取組や支援等も今後進化させていく。

答弁(教育長) 生涯学習等において、地域で頑張っている団体等の繋がりを重要視し、今後状況に合わせ支援等を行っていく。

湯沢市議会
ユーチューブチャンネル



一般質問の動画を
ご覧になれます。



◆令和7年度予算編成方針について

質問 安心して住み続けられるまちづくりの推進で、地熱資源の活用とあるが、恩恵が感じられないという声をいただく。地熱の町、湯沢だと誇りを持てるよう、どのような取組が必要か、市長の考えを伺う。

答弁 電気料を安くしてほしいということがあがるが、現状の制度、法律等々の中、なかなかその実現は難しいと考えるが、全国で2番目の地熱発電量の市でもある特殊な事情を踏まえ、国にも様々なことができないか働きかけ、交付金、税収面など、メリットをしっかりと市民にお知らせし、見える化にも取り組んでいきたい。

◆市民生活を豊かにする総合経済対策について

質問 物品調達など、地元優先で入札、発注するべきだと考えるが、市長の見解を伺う。

答弁 業者指名基準の一つに、地域の活性化等につながると認める場合は、市内名簿登録業者を優先して選定することになっている。事務用品や備品等も優先

するよう規定している。

◆主権者教育の重要性について

質問 若者の政治参加を推進することが、今後の様々な課題解決につながるものと考えているが、子供たちに対するメッセージをいただきたい。

答弁 「地域や社会をよくするために何かしたいと思いますか」という全国調査に、本市の児童・生徒は好意的な回答をしている。全国平均を10ポイント上回る状況で、地域の方々の様々な活動を通し、小さな市民、将来の市民として自覚づくりや意識の醸成につながっていると考えている。引き続き、単なる座学でなく、体験、活動を通した主権者教育に力を入れていく。



一般質問の動画を
ご覧になれます。



一般質問

◆今後の中心市街地活性化について

質問 「ストリートマルシェ」

開催後の検証結果について伺う。

【答弁】 今年度は5月から10月まで計5回の開催で、延べ1万5995人の来場者があり、出店者数は延べ120店舗であった。8月に開催したナイトマルシェでは、終了時刻を午後8時30分としたことで来場後の近隣飲食店への人の流れが多数見受けられ、中心市街地への波及効果も確認できた。回遊性を高める手段については、ストリートマルシェに限定せず、引き続き中心商店街組合等と検討しながら進めていく。

質問 中心市街地における関係団体との連携強化を今後どのように推進していくのか伺う。

【答弁】 中心四商店街組合はもちろんのこと、湯沢商工会議所、金融機関などの関係団体とも意見交換を密にし、中心市街地の活性化に向け取り組む。

◆道の駅がち周辺整備について

質問 地場産業振興や観光誘致につなげるための具体的な計画や目標があるのか伺う。

【答弁】 地場産業振興策として、地元食材を活かした飲食の提供やコラボ商品の開発の検討を、観光誘客施策の推進として、道の駅を起点とした観光コンテンツの造成や、ブランド力の高い

テナントの誘致などを予定している。

◆ウオーターPPP導入を検討について

質問 導入後のメリットはあるのか伺う。

【答弁】 今後減少と高齢化が進む自治体職員の不足を補うことができ、事業の執行体制の維持、強化が図れる。また、発注、契約、管理等の一元化により自治体、民間事業者、双方の事務負担の軽減が期待できることなどが考えられる。今後引き続き、本市に適した官民連携方式について知見と情報の収集を十分に行っていく。

※ウオーターPPP

令和5年度に改定された内閣府の「PPP/PFI推進アクションプラン」において新たに位置づけられた官民連携方式。



湯沢市議会
YouTubeチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

ふじ た 健志 議員

◆矢地ノ沢地熱開発について

質問 11月5日に行われた住民説明会で今までの同地域に対する開発について本市のかかわり方についての意見があったが、詳細を伺う。

【答弁】 「住民説明会の後、協議会を開催しているが、今後は協議会を出された専門的な意見等も地元伝えてほしい」といった意見をいただいた。

質問 住民説明会で市道の使用について開発事業者に見解があったが、市道の管理者としてのどのような対応をしたのか伺う。

【答弁】 事業者側から道路損傷の確認と復旧についての協議があり、立会いを行い対応について指導した。

◆緑風荘について

質問 リニューアルオープンする緑風荘の営業スタートに当たり不安等はないのか伺う。

【答弁】 指定管理者に事前準備をしっかりと実施してリニューアルオープンに臨んでいただいたものと考えている。

◆紙おむつ費支給券について

質問 この制度は、介護保険に規定する市町村特別給付であるが、要件を限定したことに對しての市長の見解を伺う。

【答弁】 介護保険料の引上げを抑えつつ、特に支援が必要な低所得者世帯を優先するための見直しである。

◆紙おむつ費支給券について

質問 この制度は、介護保険に規定する市町村特別給付であるが、要件を限定したことに對しての市長の見解を伺う。

【答弁】 介護保険料の引上げを抑えつつ、特に支援が必要な低所得者世帯を優先するための見直しである。

行を望む声があったが、このことについての考えを伺う。



湯沢市議会
YouTubeチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

たか はし 高橋 議員

【答弁】 現在のところ、すぐに実現できるということではないと思っている。まずは、課題事項として捉えていきたい。

※協議会とは、本市において地熱開発地点ごとに設置する協議体のことを指す。



湯沢市議会
YouTubeチャンネル

一般質問の動画を
ご覧になれます。

とある 達 議員

一般質問

◆市保有車両の整備、車検のあり方について

質問 入札参加資格者名簿の自動車整備業登録業者数と当市の車両保有台数を伺う。

答弁 登録業者数は市内26社、市外4社。車両台数は小型自動車、普通自動車、軽乗用車などが120台、バスやトラックなどが61台、除雪車などの特殊車両が156台、合計で337台。

質問 50万円以下の整備は随意契約で行っているが、公平性、透明性を担保するには入札制とするべきと考えるが見解を伺う。

答弁 事務負担、車両休車時間など考慮して現状が良いと考えている。

質問 新規登録業者は、各課に営業行為を積極的に行わなければ仕事を受注できないのか。また、整備受注数が多い業者、最も少ない業者の数を伺う。

答弁 業者の営業努力になることもある。発注台数の一番多い事業者で20台、6つの事業者が発注ゼロである。

◆小安峡温泉給湯施設、給湯料金の経過について

質問 これまでの温泉整備の総額について伺う。

答弁 3本の温泉井と付帯施設などを整備しており、整備費は平成30年度から今年度までで4億1千万円ほどである。

質問 休止中の6号井の今後の復旧費はどれくらいか伺う。

答弁 調査・点検に約400万円、復旧費の算定は調査後になる。

質問 給湯料金の条例変更はいつ頃になるか伺う。

答弁 令和7年3月定例会を予定している。

質問 メジャーな温泉郷を構築するには、駐車場やトイレ、遊歩道などはもちろん、大湯湯や大湯滝へのエレベーターやゴンドラ等の整備が不可欠である。県や国との連携も必要と考えるが見解を伺う。

答弁 今後の検討課題としていく。

質問 しっかりと整備を進めていくためにも、入湯税の見直しも必要と考えるが。

答弁 各自自治体において税率の変更も可能だが、考えになかった提案であり、検討したい。



◆市外とのアクセスについて

質問 市単独で空港とのアクセスを検討されたことはあるか。

答弁 様々な分析して、他市の例など参考にしたい。

◆本市の教育行政について

質問 教育委員会として、生成AI等の使用について、現場向けに構えていることは。

答弁 マイナスの面があることを子供や家庭の方々に理解していただく。あくまで補完的なツールであり、思考力を養う教育活動を大事にしたい。

◆豚舎の異臭について

質問 関係者から、臭気が抑えられたという事実の提示、具体性のある情報はあるか。

答弁 業者と市で意見交換し、秋田県農業公社に改善事項等を指導していただいた。業者から以前より臭気は抑えられているのではないかという話は伺っている。

質問 行政の本来性というべきか、市は積極的に根本的な解決に向け関与すべきと考えるが。

答弁 まずは秋田県農業公社に指導していただいて、それでも収まらなければ、然るべき対応を取らねばならないと考えている。

◆本市の財政状況について

質問 いわゆる箱物、大型事業が続く将来負担比率は類似団体を大きく上回る。施設の延命や開発行為、解体の見直しは。

答弁 令和11年度末に財政調整基金残高37億円を目標に、地方債の発行を抑制して残高の削減に努め、令和7年度から令和11年度の発行額を85億円程、残高を令和11年度末で262億円とする目標はある。若干のずれが生じる可能性はあるが、この財源の中で模索したい。

◆一連の事務処理誤りについて

質問 事務処理誤りの中でも、交付前マイナンバーカードの紛失の件は不可解な点が多い。紛失ではなく盗難ではないか。

答弁 職員のヒアリングを通じて、状況を確認した上で紛失という判断をした。



一般質問

◆今後の地域における
交通手段について

質問 マイルートガイドをさらに普及させるために気軽に相談できる窓口を市役所に設けられないか伺う。

答弁 利用者の増加につながる施策であれば問題点を分析しながら実施していく。

質問 循環バスの停留所を市役所に置くことは可能か伺う。

答弁 地域公共交通活性化協議会の中で議論していきたい。

◆高齢者世帯の支援の
取組について

質問 新潟市が行っているような学生によるごみ出しの支援制度を本市でも活用できないか伺う。

答弁 ごみ出し支援は、地域コミュニティでの助け合いの中で実施できるのではないかと考える。議員が紹介されたことについても参考にしたい。

◆ふるさとを離れても
「帰ってきたい」と思える
まちづくりについて

質問 奨学金制度に対する評価や要望など、奨学金利用者の声を市広報やホームページに掲載することはできないか伺う。

答弁 奨学金を貸し付ける場合と返還助成をする場合の両方で声を拾い集めながら、制度周知の際に利用希望者に伝えることを検討する。

質問 ふるさと輝き基金の一部を利用し、伝統工芸や農業などを若い人たちが学ぶ場所を設立できないか伺う。

答弁 専門的な知識を得る場が必要であると強く思っている。可能性についてしっかりと検討していく。



さとう あいこ
佐藤 愛子 議員



◆湯沢生涯学習センター等跡地の
活用について

質問 複合公共施設及び跡地活用については、ただ商店街を回遊するだけではなく、物を買ってもらい経済を上げることが必要と思うが、市長の見解を伺う。

答弁 消費が生まれる様々な地域経済が回る仕組みを構築するということは大切であり、検証し様々なイベント等効果のあるものを組み合わせていくような手法で対応したいと考えている。

◆空家等対策事業について

質問 本市の空き家件数の現状と山田地区の空き家状況と対策について伺う。

答弁 本市の空き家件数は、11月末現在で1837件、各地域の内訳は、湯沢地域が、1073件、稲川地域が246件、雄勝地域が436件、皆瀬地域が82件となっている。山田地区は127件で全体の6・9%を占めており、所有者から相談があった場合は所有者の意向に沿った場合は売却や利活用など関連制度等の利用を促している。

質問 人口減少社会ですであ

る空き家を有効活用する仕組みができれば首都圏在住の方が帰ってきた場合の受け皿になるのではないかと思うが所見を伺う。

答弁 体験移住ということで空き家を利活用することについては、所有者の同意が得られれば、やってみる価値はあると考えている。

◆山田地区の
学校再編計画について

質問 山田中学校統合による乗車対象行政区のスクールバスの通学支援について伺う。

答弁 集落で1区から3区まで行政区が分かれているところについては、配慮すべき個別の事情があるという判断で、全て乗車していただく方向で考えている。



いし かわ りゅういち
石川 隆一 議員



一般質問

◆農業振興について

質問 令和6年度中の成案化に向けた「地域計画」の策定状況、計画の目的及び農業振興への効果について伺う。

答弁 令和6年1月から6月まで各地域の担い手を中心に協議を重ね、地域計画と目標地図の素案を作成し、10月に各地域で説明会を開催した。今後は各農業関係機関・団体から意見を聴取し、令和7年3月の成案を目指す。また、この地域計画を推進することにより、地域の中心的な担い手への農地集積・集約が図られ、農作業の効率化による生産性及び収益性の向上及び農業を支える体制の構築が進むなど農業振興に寄与するものと考えてる。

質問 水田活用の直接支払交付金の受給要件について、実情に合わないとの意見が多くあるが見解を伺う。

答弁 本市の農地は、円滑な水利用が困難な水田からの転作が進んでいることに加え、再度水を張るための条件整備が厳しい農地や、整備費用が毎年発生するケースが多く、交付対象から外れた場合、生産コスト割れによる離農者の増加や耕作放棄地の拡大が懸念されるため、こ

れらの影響を受ける農家や関係団体と適切な対応を検討しつつ、今後の制度の動向を注視しながら、地域から寄せられた意見を国や県に伝えていく。

◆修学旅行費について

質問 昨今の物価高騰に加え、訪日客の増加により、国内宿泊施設の宿泊料金が急騰する中、修学旅行実施における影響について伺う。

答弁 令和7年度実施予定の修学旅行費について、令和6年度比平均で小学校300円程度、中学校9500円程度の値上がりとなっている。中学校の値上がりが目立ち、顕著であることから、教育委員会では、各家庭の積立額範囲内で実施できるように内容を吟味・確認し、修学旅行の充実を図るための指導を行っていく。



議会からのお知らせ

▽副議長の辞職について

12月10日、佐藤功平副議長から一身上の都合による副議長辞職願が議長へ提出され、12月24日、副議長の辞職が許可されました。

▽副議長の就任について

12月24日、副議長の辞職に伴う副議長選挙により、加藤昭嗣議員が当選し、副議長に就任しました。



加藤 副議長

▽予算決算常任委員長の変更について

12月24日、委員長の辞任に伴う委員の互選により、柏原久寿議員が新たに予算決算常任委員長になりました。



柏原 委員長

◆関係私企業との請負契約などの状況◆

湯沢市議会議員政治倫理条例等に基づく議員関係私企業との請負契約等及び請負単価契約の状況について、市長から報告がありましたので次のとおり公表します。

◆関係私企業との請負契約など

- 1 請負契約等の状況（1件あたりの額が30万円を超えるもの）
令和6年8月1日から令和6年10月31日までに締結したもの 該当なし
- 2 請負等単価契約の状況（契約期間終了後における支払総額が30万円を超えるもの）
令和6年8月1日から令和6年10月31日までに締結したもの 該当なし

議 案 審 議

ここでは、可決された主な議案や補正予算の主な事業などについてご紹介します。



条例の一部改正

●湯沢市議会の議員の議員報酬等に関する条例

秋田県人事委員会の勧告を参考とした一般職の職員給与改定に伴い、期末手当の支給割合を改正するもの

●湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

秋田県人事委員会の勧告を参考とした一般職の職員給与改定に伴い、期末手当の支給割合を改正するもの

●湯沢市一般職の職員の給与に関する条例

秋田県人事委員会の勧告を参考とし、給料月額及び期末勤勉手当の支給割合等を改定するもの

●湯沢市災害弔慰金の支給等に関する条例

災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項について、災害との因果関係等を調査審議する委員会を設置するための所要の改正



指定管理者の指定

●湯沢市横堀交流センター

指定先／横堀地域づくり協議会（継続）

●雄勝児童クラブ

指定先／社会福祉法人広済会（新規）

●三関・須川児童クラブ

指定先／学校法人中川学園（新規）

●湯沢市小安峡温泉総合案内拠点施設

指定先／一般社団法人湯沢市観光物産協会（継続）

●湯沢市雄勝スポーツセンター

指定先／NPO法人こまちハート・オブ・ゴールド（継続）

※指定の期間はいずれも令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

令

和

一般会計 7億6,799万6千円の増額
(補正後の予算総額は、345億2,524万4千円になります)

6

年度

特別会計 8,472万2千円の増額
(補正後の予算総額は、118億7,185万6千円になります)

◆ 補正予算の主な事業 ◆

【補正予算 第8号】(専決)

▽衆議院議員選挙費

(選挙管理委員会事務局) 3,330万3千円

【補正予算 第9号】

▽障害者等給付費

(福祉課) 1億4,842万6千円

▽児童手当給付費

(子ども未来課) 5,788万9千円

▽農業経営等復旧・継続支援事業

(農林課) 438万3千円

▽温泉給湯施設管理運営費

(観光・ジオパーク推進課) 412万5千円

▽教育指導事業

(学校教育課) 580万7千円

【補正予算 第10号】

▽物価高騰対応重点支援事業

(福祉課) 2億1,836万8千円

《各会計補正予算》

会 計 名		今回補正予算額
一 般 会 計		7億6,799万6千円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	455万5千円
	後 期 高 齢 者 医 療	291万8千円
	介 護 保 険	4,810万5千円
	養護老人ホーム愛宕荘	1,915万7千円
	皆 瀬 更 生 園	998万7千円

令和6年 第4回定例会 議決結果一覧表

○提出議案（25件）／12月4日、12月24日上程 12月24日議決

※は賛否が分かれたもの

▼付託省略（1件）

番 号	件 名	議決結果
議案第100号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度湯沢市一般会計補正予算第8号）	承認

▼総務財政常任委員会 審査（7件）

番 号	件 名	議決結果
議案第102号	湯沢市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第103号	湯沢市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第104号	湯沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第105号	湯沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第106号	秋ノ宮財産区土地使用条例の一部改正について	原案可決
議案第108号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案第109号	指定管理者の指定について（湯沢市横堀交流センター）	原案可決

▼教育民生常任委員会 審査（8件）

番 号	件 名	議決結果
議案第101号	湯沢市立児童館条例の廃止について	原案可決
議案第107号	湯沢市学校給食費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第110号	指定管理者の指定について（雄勝児童クラブ）	原案可決
議案第111号	指定管理者の指定について（三関・須川児童クラブ）	原案可決
議案第113号	指定管理者の指定について（湯沢市雄勝スポーツセンター）	原案可決
議案第115号	工事請負変更契約の締結について（湯沢文化会館大規模改修工事（建築））	原案可決
議案第116号	工事請負変更契約の締結について（湯沢文化会館大規模改修工事（電気設備））	原案可決
議案第117号	工事請負変更契約の締結について（湯沢文化会館大規模改修工事（機械設備））	原案可決

▼産業建設常任委員会 審査（2件）

番 号	件 名	議決結果
議案第112号	指定管理者の指定について（湯沢市小安峡温泉総合案内拠点施設）	原案可決
議案第114号	工事請負変更契約の締結について（成沢工業団地敷地造成工事）	原案可決

▼予算決算常任委員会 審査（7件）

番 号	件 名	議決結果
議案第118号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第119号	令和6年度湯沢市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第120号	令和6年度湯沢市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第121号	令和6年度湯沢市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第122号	令和6年度湯沢市養護老人ホーム愛宕荘特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第123号	令和6年度湯沢市皆瀬更生園特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第124号	令和6年度湯沢市一般会計補正予算（第10号）	原案可決

令和6年 第4回定例会 議決結果一覧表

○陳情（6件）

※は賛否が分かれたもの

▼教育民生常任委員会 審査（6件）

番 号	件 名	議決結果
陳情第47号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情	採 択
陳情第48号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情	採 択
陳情第49号	健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情	不採択
陳情第50号	「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書	採 択
陳情第51号	「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情	採 択
陳情第52号	「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情	採 択

※

○意見書案（5件）

番 号	件 名	議決結果
意見書案第7号	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書	原案可決
意見書案第8号	政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書	原案可決
意見書案第9号	介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書	原案可決
意見書案第10号	「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書	原案可決
意見書案第11号	「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書	原案可決

賛否一覧表

採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。
議長は採決に加わりません。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥

会 派 名	湯 和 会 ・ 公 明							政 和 会					湯沢政策研究会					議 決 結 果
議席番号	1	9	10	11	12	17	18	7	8	14	15	16	5	6	3	4	13	
議 員 名	兼子正寛	柏原久寿	高橋肇	佐藤愛子	高橋達	渡部正明	佐藤功平	寺田純二	小田嶋秋一	石川隆一	高橋克己	沓澤正雄	藤田健志	大山豪	宮原晃	佐藤勝	加藤昭嗣	
副議長の辞職の許可について	○	○		○	○	○	欠	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
陳情第49号	×	×		×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	不採択

※ 陳情第49号 健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情

北海道釧路市「姉妹都市等交流の取組について」

湯沢市議会として関係自治体との関わりを深める取組を行うにあたり、釧路市姉妹都市等交流促進議員連盟の設立経緯、活動の内容を中心に視察を行った。

釧路市議会は、昭和30年に釧路市国際貿易促進議員連盟を設立したことを始めとして、市町村合併を経ながら、現在の釧路市姉妹都市等交流促進議員連盟に改組した。港湾都市ならではの幅広さで、国内では本市をはじめ8市町と交流し、また海外については7つの都市・港湾等と交流している。

全議員が議員連盟に所属し、任期中にいずれかの交流相手を訪問することとしており、議員連盟の活動の財源は、議員の会費と市補助金であった。

姉妹都市等との交流の中で教育機関同士の交流も活発に行われ、学生たちが異文化を学ぶ機会が提供され、教育の振興につながる側面もあった。

湯沢市議会の他地域との交流において、釧路市議会の活動を参考としたい。



◆ 議員特別研修の実施状況 ◆

湯沢市議会では、市政全般の課題や市民の意見、要望などを的確に把握し、自己の能力を高めようとする議員の資質向上と豊かなまちづくりに寄与することを目的に『湯沢市議会議員特別研修実施要領』を定め、議員を研修に派遣しています。議員自ら、スケジュールを組み立て、研修内容を選択し、取り組んでいます。

4月～12月までの実施状況は、下記のとおりです。

月 日	議 員 名	研 修 内 容	研修先（主催者、会場）	派遣経費
8月19日 ～20日	大山 豪	地方議員のための政策法務～政策実現のための 条例提案に向けて～ ・ 地方議員と政策法務、法制執務の基本、演習 導入 ・ 条例立案演習、発表・意見交換・講評	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM)	受講料 11,000円 旅 費 67,880円
11月18日 ～20日	寺田 純二	第2回 新人議員のための地方自治の基本 地方自治制度の基本、元議長が語る「住民から近くて 遠い地方議会から近くて近い地方議会」への一考察 地方議会と自治体財政、条例と政策の審査・立 案、条例演習	公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM)	受講料 11,000円 旅 費 67,080円
12月25日 ～26日	兼子 正寛 大山 豪	#Re地方議会 スタディ・ミーティング2024 さよなら議会改革、私たちが目指すのは「地方議会の モダンイゼーション」	一般社団法人地方公共団体政策 支援機構 アイクロス湘南	受講料 15,000円/人 旅 費 45,720円/人

特集

出張!! なんでも意見交換会

小安峡温泉地域で
活躍されている3団体

×

産業建設常任委員会

令和6年11月26日実施

湯沢市議会産業建設常任委員会主催による
「議員と語り合う 出張!! なんでも意見交換会」
今回は、小安峡温泉地域で活躍されている
3団体の皆さんと、

「小安峡温泉地域の
活性化について」

をテーマに意見交換を行いました。

皆瀬物産協会

湯沢市の特産品や手工芸品、秋田土産を広く販売するほか、地域の情報発信地として、観光案内を行っている皆瀬観光物産館を運営しています。また、隣接する産地直売施設「あぐり館」とのこれまで以上の連携が地域全体の活性化に繋がると期待されています。



小安峡温泉きらめき女子会

東日本大震災による観光客が減少したことをきっかけに、小安峡温泉地域の復興を目的として温泉旅館の女将さんを中心に平成24年結成。SNSを活用し、フォトコンテスト開催や地域のイベントなどを発信しており、地域活性化や観光誘致の活動に取り組んでいます。



(有)皆瀬村活性化センター

地元の自然資源や文化を活かした持続可能な地域づくりを目指しており、「かえで庵」・「とことん山キャンプ場」の運営や地域資源を活用した商品開発、農林業の支援・振興などの活動に取り組んでいます。



■意見交換会開催の経緯

産業建設常任委員会では、湯沢市の観光地として、重要な役割を担っている小安峡温泉地域に焦点を絞り、「地域資源の活用状況」や「インパウンドの現状」、「地域内の連携体制」などについて、関係者の意見を直接聞き、現状をより正確に把握することが必要と考えました。そのため、日頃から小安峡温泉地域で活躍されている3団体の皆さんにご参加いただき、「小安峡温泉地域の活性化について」をテーマに意見交換会を行いました。会場は、令和5年9月に開庁した皆瀬庁舎の交流ロビーで行いました。

■意見交換会の内容

意見交換会では、地域の現状や課題について多くの意見が交わされました。その中でも特に話題となった項目を5つ紹介いたします。

◎地域資源を活用した観光振興

滞在型観光の強化に向けた「季節ごとのイベント企画」や「体験型アクティビティの充実」が話題になりました。とことん山キャンプ場や周辺の温泉旅館を中心に、四季折々の魅力を楽しむ仕組みづくりを行うことで、観光客の平準化を図り、持続可能な観光を推進する必要があると意見が交わされました。



会場：皆瀬庁舎 交流ロビー

◎地域連携とリーダーの存在

地域資源を有効活用するためには、地域全体の連携強化が重要であり、「地域をまとめ、方向性を示すリーダーの存在が不可欠」との意見が多く上がりました。

◎小安峡大墳湯周辺の安全性と景観整備

小安峡大墳湯周辺では、老朽化した手すりなどについて、安全性に対する懸念や観光地としての景観が損なわれているなどが話題となりました。整備の際には、自然と調和した景観を損なわない工夫が求められるとの意見が出されました。



◎インバウンドの現状と受入体制

紅葉などを目的に外国人観光客が増加しているが、「どんな観光客が押し寄せる場所」というよりも、「新しい場所を探し、訪れたい」と考える方が訪れている印象。受入体制として、アクセスの不便さや宿泊施設の収容力不足、接客対応の難しさなどが課題となっている。観光客の多様なニーズに応えるため、観光客向けの周遊バスや外国人観光客向けの案内強化などが急務であるとの声がありました。

◎駐車場不足と誘導体制の改善

今年の紅葉シーズンには、皆瀬観光物産館とあぐり館前の駐車場が満車となり、渋滞が発生していました。駐車場への誘導案内が不足していたことや「とことん山キャンプ場」前の駐車場が十分に活用されていなかったこともあり、観光ピーク時の臨時駐車場や駐車場案内の改善について話し合われました。

■意見交換会のふりかえり

滞在型観光の強化や地元特産品を活用した商品開発、インバウンドの受入体制整備のほかに幅広い内容について、意見交換を行うことができました。ご参加いただいた皆さまから貴重なご意見をいただくことができ、産業建設常任委員会では、意見交換会の内容をもとに小安峡温泉地域の活性化に向け、行政に対して政策提言を行っていきたいと考えています。

申し込み 入力フォーム



詳細・開催時 の様子



皆さまのもとへ
お伺いします！



湯沢市議会では、出張!!なんでも意見交換会の参加団体を随時受付中です。市内の団体やグループと意見交換を行い、いただいたご意見を議会活動に反映させ、政策提言などに活かしていきます。



議会のうごき

10月・11月・12月

- 10月1日 10月期月イチ📺オンラインミーティング
 10月7日 次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会
 10月9日 第19回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡（～10日、岩手県）
 10月9日 愛知県岡崎市議会行政視察受入れ
 10月15日 広報広聴委員会
 10月16日 愛媛県西予市議会行政視察受入れ
 10月17日 北海道当別町議会行政視察受入れ、茨城県つくばみらい市議会行政視察受入れ
 10月18日 秋田県南地域市議会事務局職員研修会
 10月20日 まちなかプッチ議会inゆざわの休日
 10月22日 秋田県市議会議員研修会（秋田市）
 10月24日 議会運営委員会行政視察（～25日、北海道釧路市）
 10月27日 ゆざわ市民一日議会
 10月30日 島根県大田市議会行政視察受入れ
 10月30日 次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会、第8回議会改革研修会
 10月31日 県南地域市議会議員研修会
 11月1日 11月期月イチ📺オンラインミーティング
 11月7日 湯沢市雄勝郡市町村議会議員交流会（羽後町）
 11月11日 広報広聴委員会
 11月12日 福島県相馬市議会行政視察受入れ
 11月13日 宮城県岩沼市議会行政視察受入れ
 11月14日 産業建設常任委員会委員協議会
 11月19日 次世代に残したいホワイトな湯沢市議会のあり方に関する特別委員会
 11月21日 全員協議会
 11月26日 出張！！なんでも意見交換会（産業建設常任委員会）
 11月29日 議会運営委員会
 12月2日 12月期月イチ📺オンラインミーティング
 12月4日 本会議（開会）、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会協議会
 12月6日 本会議（報告・議案質疑、議案付託）、議員互助会役員会、地熱利用調査促進議員連盟役員会、湯沢市森林・林業・林産業活性化推進議員連盟役員会、広報広聴委員会
 12月11日 本会議（一般質問）
 12月12日 本会議（一般質問）
 12月16日 予算決算常任委員会（分科会）、総務財政・教育民生・産業建設常任委員会
 12月17日 所管事務調査（教育民生常任委員会）、出張！！なんでも意見交換会（教育民生常任委員会）
 12月19日 予算決算常任委員会（全体会）、議員互助会総会、森林・林業・林産業活性化推進議員連盟総会、地熱利用調査促進議員連盟総会
 12月23日 全員協議会、議会運営委員会
 12月24日 本会議（閉会）、予算決算常任委員会（全体会）、議員全員協議会
 12月25日 議員特別研修（兼正寛議員、大山豪議員／26日、神奈川県）

議長交際費(10月・11月・12月)

支出区分	内 容	件数・個数	金額(円)
会費	特定非営利活動法人湯雄福祉会創立十五周年記念式典祝賀会 会費 ほか	9	49,000
弔慰	元湯沢市議会議員死去 弔慰金	1	10,000
接遇	愛媛県西予市議会来湯時の歓迎酒代 ほか	6	18,315
合計		16	77,315

※各項目の詳細については、市ホームページをご覧ください。

委員長 藤田 健
 副委員長 小田嶋 秋
 委員 宮原 純
 委員 寺田 晃
 委員 佐藤 二
 委員 高橋 達

た意味もあるようです。
 市町村合併20年を迎える
 の状況から脱皮をし柔軟に
 対応できる成長の一年とし
 たい。
 （寺田 純二記）

■ご意見等をお寄せください。

- 湯沢市議会に対してのご意見・ご質問などのようなことでも結構です。寄せられた内容に関しては、議会活動の参考とさせていただくほか、市議会だよりやその他の媒体で紹介させていただく場合があります。

提出方法

郵 送：〒012-8501

湯沢市議会事務局 宛（住所不要）

FAX：0183-72-3780

メール：gikai@city.yuzawa.lg.jp

※ 右のQRコードから入力フォームでも提出できます。



3月定例会の日程（予定）

2月25日	本会議 開会（議案上程、提案理由説明）
2月27日	本会議 （議案質疑・付託、請願・陳情付託）
3月3日	本会議 代表質問
3月4日	本会議 一般質問
3月5日	本会議 一般質問
3月6日	（一般質問 予備日）
3月7日	予算決算常任委員会（全体会：総括質疑）
3月10日	予算決算常任委員会（分科会：当初予算審査）
3月11日	常任委員会
3月12日	（常任委員会 予備日）
3月13日	予算決算常任委員会（全体会）
3月18日	本会議（採決） 閉会

※日程については変更になる場合がありますので、ご了承ください。

■請願・陳情の提出締切は2月13日(木)午後5時



秋田県湯沢市議会

ユーチューブ
チャンネル

■議会傍聴について

- 本会議や各委員会は、当日受付でどなたでも傍聴できます。

開催日に、市役所本庁舎4階
 議会事務局までお越しください。



傍聴の仕方

■議会中継について

- 本会議の様子は、配信（ライブ・録画）をしています。ご覧ください。



ライブ・録画

編集後記

令和7年（蛇年・巳年）
 も年が明けて早一ヶ月を過ぎました。
 へびは、古くからさまざまな意味を持つ生き物として捉えられてきたようです。金運や繁栄をもたらす縁起物として広く認識されています。

また「巳（へび）」には、「新しく産まれてくる」、「将来・未来がある」といった意味もあるようです。これは、へびが定期的に脱皮を繰り返すことに由来し、生命力や再生、変化と進化の象徴とされているからだと思います。また、「巳」という漢字は、胎児の形から派生したと言われ、「子孫繁栄」や「一家和楽」といった意味もあるようです。
 市町村合併20年を迎える本市においても、課題山積の状況から脱皮をし柔軟に対応できる成長の一年としたい。
 （寺田 純二記）